



JCM設備補助事業の最新状況と

JCM Global Match

2025年2月5日

公益財団法人 地球環境センター

Global Environment Centre
Foundation (GEC)

Contents

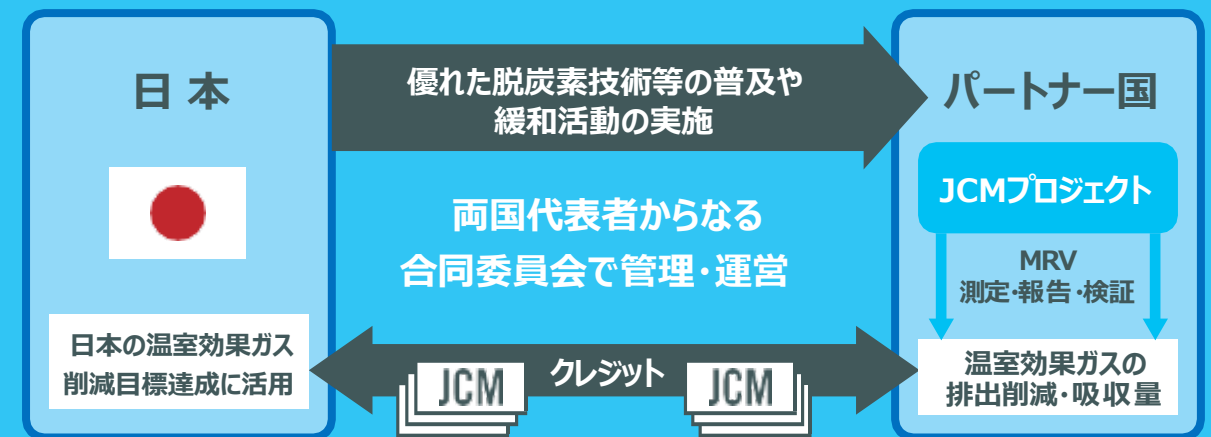
1. JCM設備補助事業の最新状況

JCMの基本概念

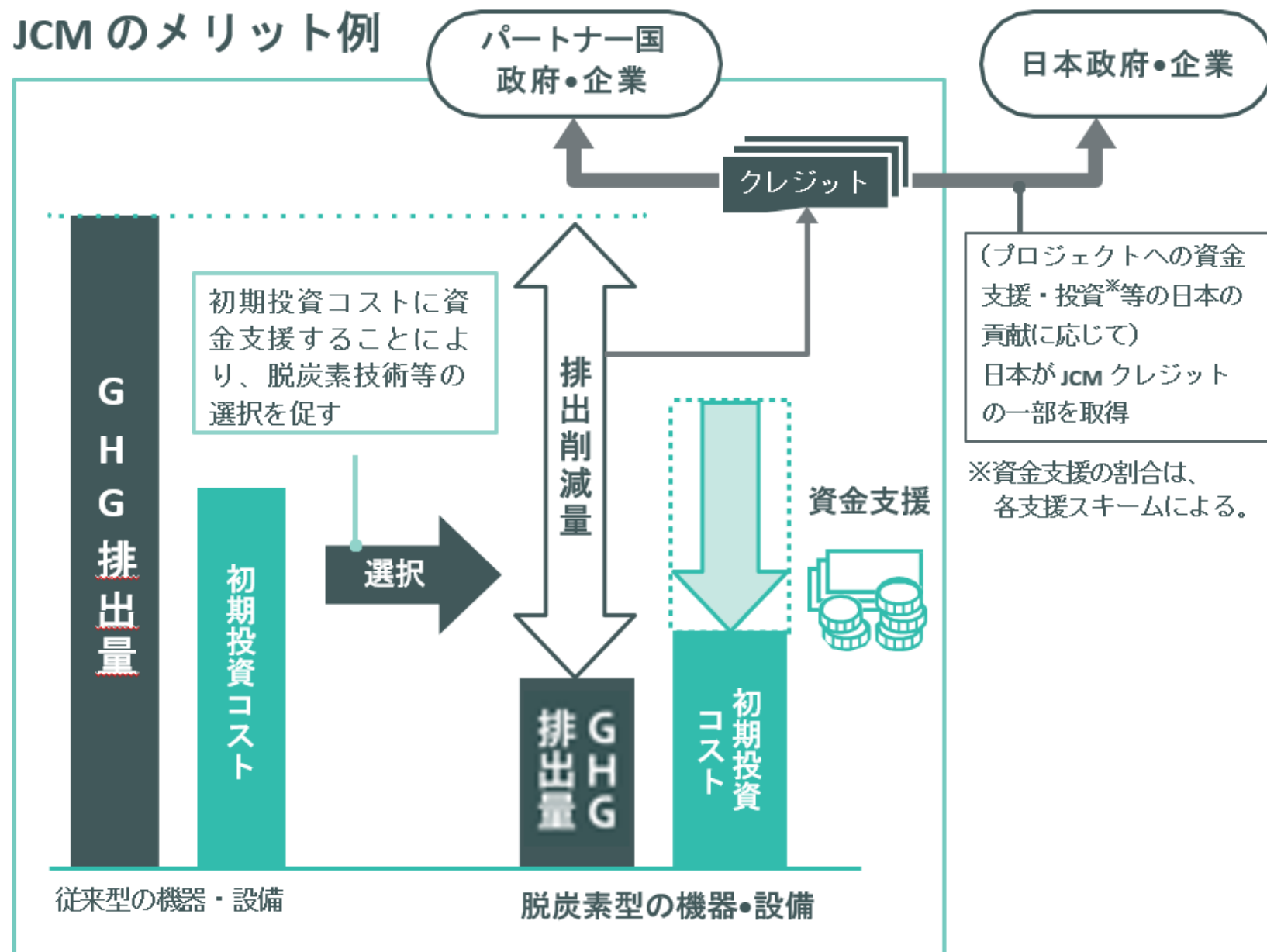
- 優れた脱炭素技術・製品・システム・サービス・インフラの普及や緩和活動の実施を加速し、途上国等の持続可能な開発に貢献
- 温室効果ガス排出削減・吸収への我が国の貢献を定量的に評価するとともに、我が国の削減目標の達成に活用
- 地球規模での温室効果ガス排出削減・吸収行動を促進することにより、国連気候変動枠組条約の究極的な目的の達成に貢献

JCMの拡大強化

- 官民連携で2030年度までの累積で1億トン・CO2程度の削減・吸収をJCMで確保することを目標
- パートナー国が29か国に増加、30か国程度を目標
- パリ協定6条に合致する仕組みとして世界の取組みを先導



JCM のメリット例



- 途上国等への優れた脱炭素技術等の普及を通じ、地球規模での温暖化対策に貢献するとともに、日本からの排出削減への貢献を適切に評価し、我が国の削減目標の達成に活用。
- 本制度を活用し、環境性能に優れた技術・製品は一般的に初期コストが高く、途上国への普及が困難という課題に対応（JCM資金支援事業等のプロジェクト組成に係る支援を実施中）。

再エネ



太陽光発電
(ファームドゥ)



水上太陽光発電
(ティエスピー)



小水力発電
(トーヨーエネルギーファーム)



バイオマスボイラー
(富士食品工業)



バイナリー方式地熱発電
(三菱重工業)

省エネ (民生)



コンビニ省エネ (R-32)
省エネ設備：パナソニック製



高効率冷凍機
(前川製作所)



高効率エアコン
(リコー、NTTデータ経営研究所) 大金工業製、日立製

省エネ (産業)



高性能工業炉リジエボータ
(豊通マシナリー)

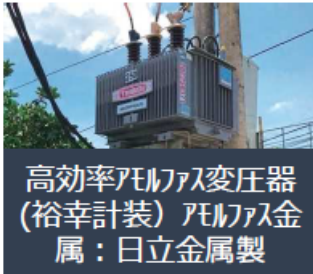


コージェネレーションシステム
(豊田通商) コージェネシステム：川崎重工業製

省エネ (インフラ)



高効率LED街路灯の無線制御 (ミネバアミツ)



高効率電力変圧器
(裕幸計装) 電力金属：日立金属製

廃棄物



メタンガス回収発電
(NTTデータ経営研究所)



廃棄物発電
(JFEエンジニアリング)

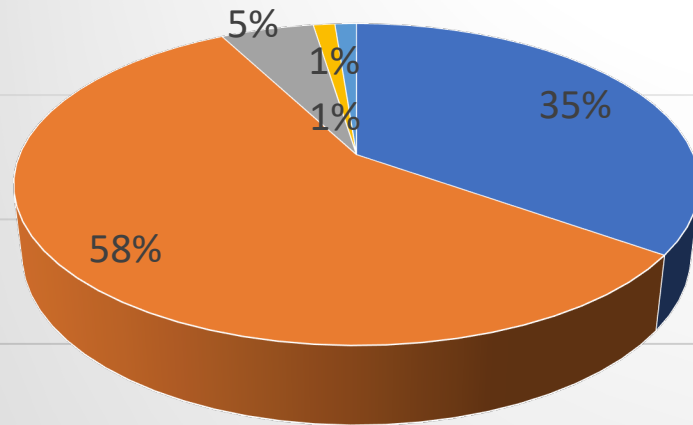
交通



公共バスCNG混燃設備
(北酸)

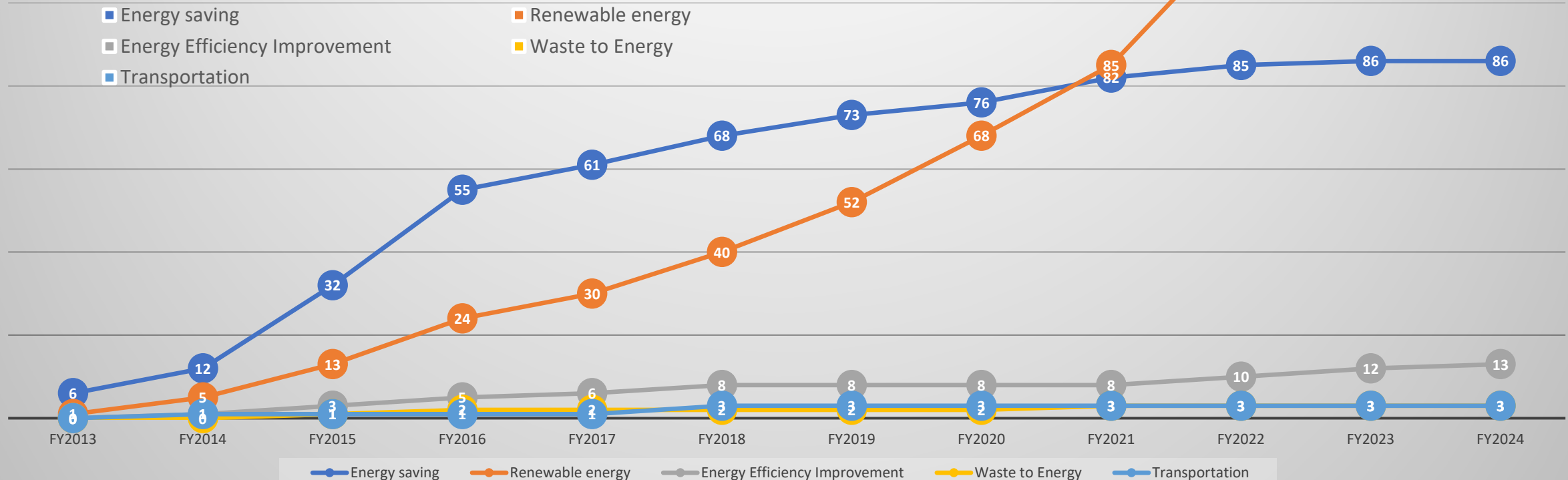
エネルギー有効
利用5%
廃棄物処理1%
交通1%

茶：再エネ
58%



再エネと省エネが案件数のほとんどを占める

青：省エネ
35%



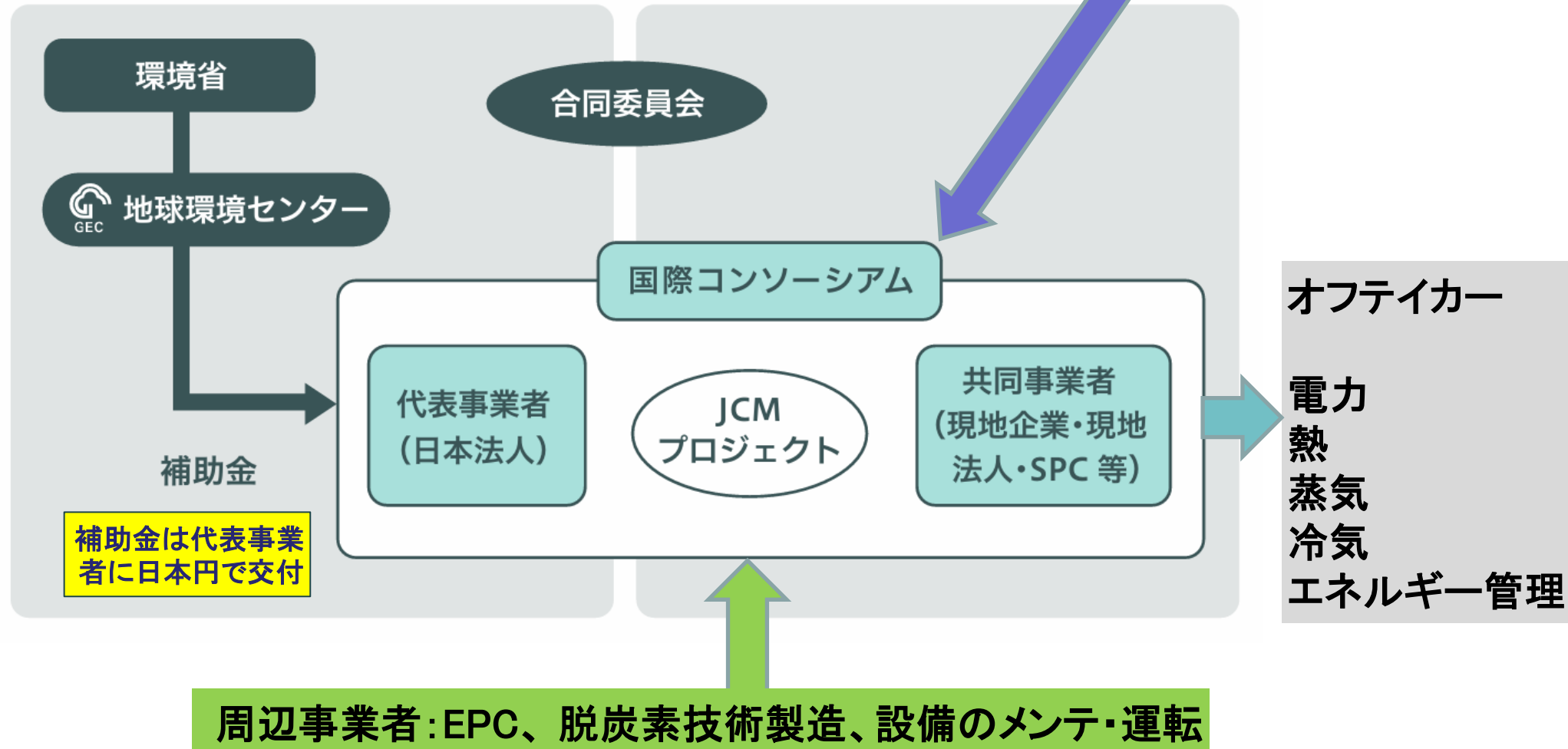
JCM 設備補助事業

金融機関、ファンド等から国際コンソーシアムを構成する法人へ投融資、リスクヘッジソリューションを提供

日 本

パートナー国

多様な業態や
国籍の法人に
豊富な収益機会



パートナー国合計：255件採択(29か国)

(●設備補助: 238件 (エコリース7件含む), ▲F-gas: 4 件, ■ADB: 8 件, ■UNIDO: 1 件, ●新技術: 2件, ◆ REDD+: 2 件)

運転開始(下線の案件): 184件

JCMプロジェクト登録(※の案件): 74件

2024年12月6日時点

東南アジア諸国が
最多数。

太陽光はベトナム、タイ、チリ、フィリピンで上限件数(10件)に到達済み。

太陽光＋蓄電池を含む他の技術での案件組成が期待される。



公募の採択審査基準は毎年度変更される可能性があります。
各年度4月初旬の公募開始時の発表をご確認ください。
毎年公募説明会を開催しておりますので、ご参加ください。日程等はGECのHPをご覧ください。

予算

2024 年度から 3 か年度で約 128 億円。

1件当たりの補助金の交付額

20 億円以下を目安。

補助対象経費

エネルギー一起源 CO2 排出削減に直接寄与する設備の整備に係る経費。

- 対象例: モニタリング機器含む設備費、本工事費
- 対象外の例: 土木工事費・建屋建設費、予備品

補助率の上限

パートナー国において前年度末までに採択された「類似技術」の件数に応じて設定。

「類似技術」 件数	0件	1件以上 3件以下	4件以上 7件以下	8件以上 9件以下	10件以上
上限	50%	40%	30%	20%	不採択

MRV期間

設備が稼働してから法定耐用年数満了まで MRV(測定・報告・検証)を実施。法定耐用年数は、「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」の別表第一および第二のとおり。同じ設備でも業務用途により耐用年数が異なる。

GHG 排出削減総量に係る補助金額の費用対効果

GHG 削減費用対効果[円 / tCO₂eq] =
補助金額[円] × 2 ÷ GHG 排出削減総量[tCO₂eq] × 3

※2 補助金額[円] =
補助対象経費[円] × 補助率[%]

※3 GHG排出削減総量 =
GHG 年間排出削減量[tCO₂eq / 年] × 法定耐用年数[年]

費用対効果は 4 千円 / t CO₂eq 以下
太陽光発電は原則 2 千 5 百円 / tCO₂eq 以下、
小水力発電は原則 5 百円 / tCO₂eq 以下

○ 公募開始

採択審査
(書類・ヒアリング、PIN※1の
パートナー国事前照会)

・4月に公募説明会開催予定

採択内示

交付申請書
内容審査
※2

交付決定

○ 設備補助事業開始

設備補助事業実施
(最大3カ年度・
繰越制度あり)

補助金の概算払
(補助事業実施中の
補助金支払請求)

確定検査

完了実績報告・確定検査・
補助金の精算払

補助金支払

○ MRV

測定
(Measurement)

報告
(Reporting)

検証
(Verification)

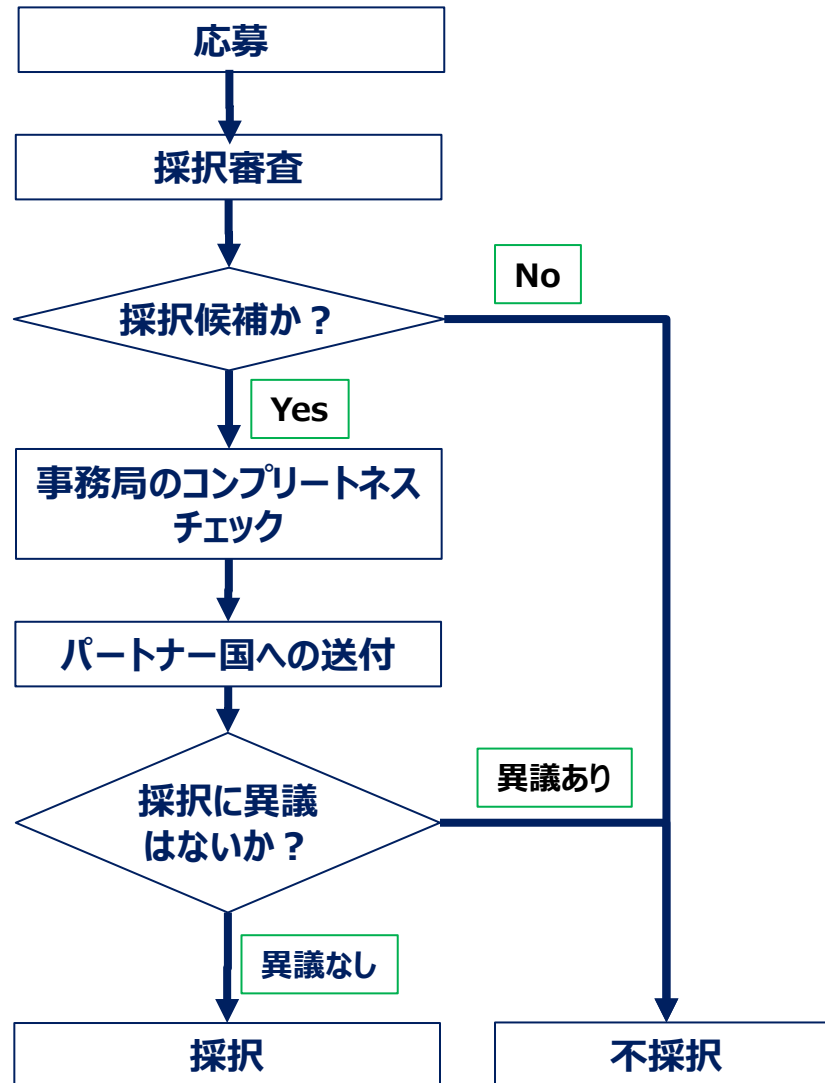
クレジット
発行

設備の設置・試運転完了の後、温室
効果ガス排出削減量の測定・報告・
検証（MRV）を行いJCM クレジット
の発行を目指す

※1 PIN (Project Idea Note) : JCMクレジットシェア比率を含めプロジェクトの概要を相手国側へ説明し、異議の有無を確認するための資料
相手国や案件によって異議の有無の確認に日数を要する可能性がある。事業会社の準備段階においてパートナー国当局との
コミュニケーションをとることを勧める。

※2 採択後 60 日以内に交付決定できるよう、交付申請書は採択後 30 日以内に提出いただきます。

審査期間中、採択候補案件について、PINをパートナー国のJCM事務局と合同委員会へ送付し、採択に異論がないことを確認した上で、採択について決定します。



Project Idea Note (部分)

(本様式はJCM パートナー国と調整中のものであり最新様式はJCM ホームページの各パートナー国ページを参照する必要がある。)

Project Idea Note for JCM Project (Provisional Draft)

PIN reference number	(For the secretariat use only)
----------------------	--------------------------------

All the information described in this document is at the pre-implementation stage and may change as the project develops.

1. Basic project information	
1.1. Date of Submission	dd/mm/yyyy* 公募提案書の提出日
1.2. Partner country (A host country where the planned project is located)	* パートナー国
1.3. Title of the planned project (Should be self-explanatory and clearly indicate the activity leading to GHG emissions reductions / removals)	* 事業名 (公募提案書の英語名称と統一すること)

The Joint Committee makes the result publicly available, including the PIN reference number, the name of the planned project, the date of submission in the above, and the reason for objection when the Joint Committee objects to the planned project described in the PIN through the JCM website.

2. Project participants and contact information	
2.1. Representative Japanese participant for the project and its roles in the project (For identification of the person in charge for the project in terms of communication)	
* 代表事業者の主な窓口担当に関する情報	
Name of the entity (Company, etc.):	* 事業者名
Roles of the entity in the project:	* 事業者の役割 (事業の実施責任、MRV の報告等)
Address of the contact entity:	* 所在地
Website of the contact entity:	* Web アドレス
Name and position of the main contact person in the entity:	Last name: *姓 First name: *名 Position: *役職
E-mail of the main contact person:	* 窓口担当者の E メールアドレス
Phone number of the main contact person:	* 窓口担当者の電話番号
2.2. Japanese participant(s) for the project and their roles in the project except for the entity in 2.1. (If possible, please indicate the contact person of each entity involved in the project)	
* 日本の事業者に関する情報	
Name of the entity (Company, etc.):	* 事業者名
Roles of the entity in the project:	* 事業者の役割 (事業の実施責任、MRV の報告等)
Address of the entity:	* 所在地
Website of the entity:	* Web アドレス
Name and position of the contact person in the entity:	Last name: *姓 First name: *名 Position: *役職
E-mail of the contact person:	* 担当者の E メールアドレス

Contents

2. JCM Global Matchご紹介

JCM Global Matchとは

環境省が実施する
JCM設備補助事業はじめ、
JCM案件形成を
支援する無料の
ビジネスマッチング
サイトです。



The screenshot shows the homepage of the JCM Global Match website. At the top, there is a navigation bar with a GEC logo, a search bar, and links for '検索' (Search) and 'ログイン' (Login). Below the navigation bar, the main heading reads 'JCM Global Match' with the tagline 'A FREE matching platform for decarbonizing businesses!'. A large image of hands stacked together is in the background. Below the heading, there is a section titled '役割・国からパートナーを見つける' (Find partners by role/country). This section is divided into four categories: 'Japanese Enterprises' (represented by a Japanese flag and city skyline), 'Partner Country Enterprises' (represented by a world map), 'Consultants, Public Sectors' (represented by a group of business people), and 'Financers' (represented by various banknotes). On the left side of the page, there is a vertical text block in Japanese: '環境省が実施するJCM設備補助プラットフォームへようこそ。' (Welcome to the JCM equipment subsidy platform implemented by the Ministry of Environment), followed by '情報収集やパートナー探しにご活用' (Please use for information collection and partner search), and a link '*「JCM Global Match」の特徴' (Features of 'JCM Global Match').

2. JCM Global Match の活用方法

ご登録後、次の機能を活用できます。

1

発見

潜在的パートナー
を検索しアプローチできます

2

宣伝

御社の商品・サービスを
効率的にアピールできます

3

協議

事業計画や脱炭素関連の
話題について協議できます

JCM Global Matchとは

登録ユーザーの4割
が日本拠点の方、
6割は日本以外の拠
点の方で、
60力国以上から登
録があります。



The screenshot shows the homepage of the JCM Global Match website. At the top, there is a navigation bar with a GEC logo, a search bar, and links for 'ホーム' (Home), 'What is JCM', '使い方' (Usage), '導入事例' (Introduction Cases), and 'よくある質問' (Frequently Asked Questions). The main header features the text 'JCM Global Match' and 'A FREE matching platform for decarbonizing businesses!'. Below this, a section titled '役割・国からパートナーを見つける' (Find partners by role/country) displays four categories: 'Japanese Enterprises' (with a Japanese flag and cityscape), 'Partner Country Enterprises' (with a world map), 'Consultants, Public Sectors' (with an image of business people), and 'Financers' (with an image of various banknotes). A sidebar on the left contains text about the Ministry of Environment's JCM equipment subsidy project and a link to the platform.

環境省が実施するJCM設備補助事業プラットフォームへようこそ。ぜひ、報告収集やパートナー探しにご活用ください。

*「JCM Global Match」の特徴

役割・国からパートナーを見つける

日本企業（法人） Japanese Enterprises

パートナー国企業（法人） Partner Country Enterprises

コンサルタント・公共機関 Consultants, Public Sectors

Financers

2. JCM Global Match の活用方法

1

発見

潜在的パートナー企業と担当者を技術、国、会社名などで検索できます。



2. JCM Global Match の活用方法

2

宣伝

「オープンディスカッション」は、脱炭素ビジネスの話題を自由に投稿できる場です。

オープンディスカッション



オープンディスカッション（国別）



オープンディスカッション（技術別）



◆マッチング成功例

- ・ファームランド 「チリ／ニュブレ州チジャン市における3MW太陽光発電プロジェクト」
- ・アジアゲートウェイ 「モンゴル／ドルノゴビ県エルデネにおける15MW太陽光発電プロジェクト」
- ・ファームランド 「ケニア／農場への230kW太陽光と蓄電池の導入」 UNIDO-JCM
- ・2024年度 多数の代表事業者、共同事業者が会員登録済



URL:<https://gec.force.com/JCMGlobalMatch/>

GECのJCMウェブサイト

<http://gec.jp/jcm/>



JCM紹介パンフレット

<http://gec.jp/jcm/jp/publications/>



日本語版



英語版

GECのJCM X

https://twitter.com/GEC_JCM_Info



応募相談を年中受け付けています

まずは、「応募相談シート」に貴社事業の内容・取組み状況を記載し、jcm-info@gec.jp 宛て送付ください。
応募提案に向けた具体的なポイントを分かり易くアドバイス致します。

➤ 応募相談による支援内容（例）

- ✓ 補助対象範囲の確認と適切な申請範囲の助言
- ✓ 優れた脱炭素技術の内容
- ✓ 国際コンソーシアム体制
- ✓ GHG削減量の計算方法
- ✓ 法定耐用年数、補助率、費用対効果
- ✓ 資金調達見込み、許認可取得見込み
- ✓ 補助金の必要性・採算性

応募相談シート リンク

https://gec.jp/jcm/kobo/mp/GEC_Consultation_Form_2024_jp.docx

2024 年度 GEC 応募相談シート	
相談方法に関する情報	
応募対象 （いずれかを 選択してください。）	☐ JCM 設備補助事業 ☐ 水素等新技術導入事業 ☐ 未定 ※民間 JCM に関するご相談は、JCM 事務局（info@jcm.go.jp）までお問い合わせください。 （複数の候補日時を挙げてください。）
面談希望日	
方法 （いずれかを選択して ください。）	☐ 対面（於 ） ☐ Web 会議
面談予定者 ※全欄のご所属・氏名	
過去の応募相談 回数（※同一案件）	☐ 今回が初めて ☐ （ ） 回目：前回実施日：日付を選択してください。
管理 No./面談日	（GEC 記入） / 日付選択。
GEC 対応者	（GEC 記入）
事業ご担当者情報	
事業者名	
担当者所属	
担当者名（連絡 窓口）	
メールアドレス	
電話連絡先	
JCM Global Match の登録状況	☐ 登録済 ☐ 未登録（未登録の場合は登録をご検討ください。） 登録サイト： https://jcm-gm.my.site.com/JCMGlobalMatch/s/?language=ja
JPRSI の登録状 況	☐ 登録済 ☐ 未登録（環境インフラの海外展開情報の入手のために、登録をご検討ください。） 登録サイト： https://jprsi.go.jp/
事業情報	
補助事業概略説 明の要否	JCM 設備補助事業 ☐ 必要 ☐ 不要 水素等新技術導入事業 ☐ 必要 ☐ 不要
応募予定	☐ 2024 年度 / ☐ 2025 年度 / ☐ 検討中（提案時期： 頃 ）
パートナー国 （又は事業実施国）	
代表事業者名 ※必ず日本人であること	事業者名： Website：

ご清聴ありがとうございました

◆お問合せ先／応募相談窓口

公益財団法人地球環境センター（GEC）

東京事務所 事業第二グループ

jcm-info@gec.jp

付属資料 1

最近の案件のご紹介

化学工場へのバイオマスコージェネレーションシステムの導入

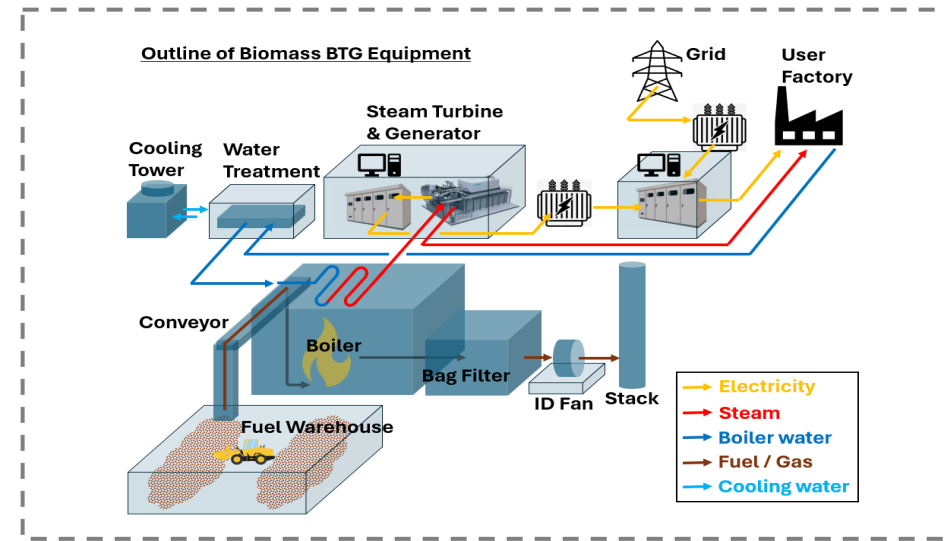
プロジェクト実施者：（日本側）日鉄エンジニアリング株式会社（タイ側）NS-OG ENERGY SOLUTIONS (THAILAND) LTD.、
THAI NIPPON STEEL ENGINEERING & CONSTRUCTION CORPORATION, LTD.

GHG排出削減プロジェクトの概要

2024年度採
択案件です

本事業はラヨーン県の工業団地内に立地する化学工場内において、バイオマスコージェネレーション設備を導入し発電した電力及び製造した蒸気を化学工場及び隣接する工場に供給する。

化石燃料由来のグリッドからの電力の一部及び、従来ガスボイラで製造していた蒸気を、再生可能エネルギーに代替する事で、温室効果ガス(GHG)排出量を削減する。



想定GHG排出削減量

48,429tCO₂/年

= リファレンスCO₂排出量-プロジェクトCO₂排出量

・リファレンスCO₂排出量[t CO₂/年]

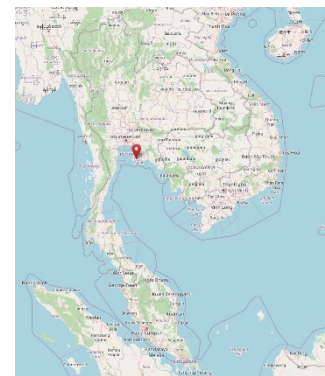
= プロジェクト発電量 [MWh/年] × 排出係数 [t CO₂/MWh] + 送蒸気熱量[GJ/年] × 排出係数[t CO₂/GJ]

・プロジェクトCO₂排出量[t CO₂/年]

= バイオマス発電施設の化石燃料消費に伴うCO₂排出量[t CO₂/年]

+ プロジェクト輸送エネルギー熱量 [GJ/年] × 排出係数 [t CO₂/GJ]

実施サイト



スワンナプーム
国際空港



バンコク スワンナ
プーム国際空港か
ら南に約150km

ラヨーン県
化学工場

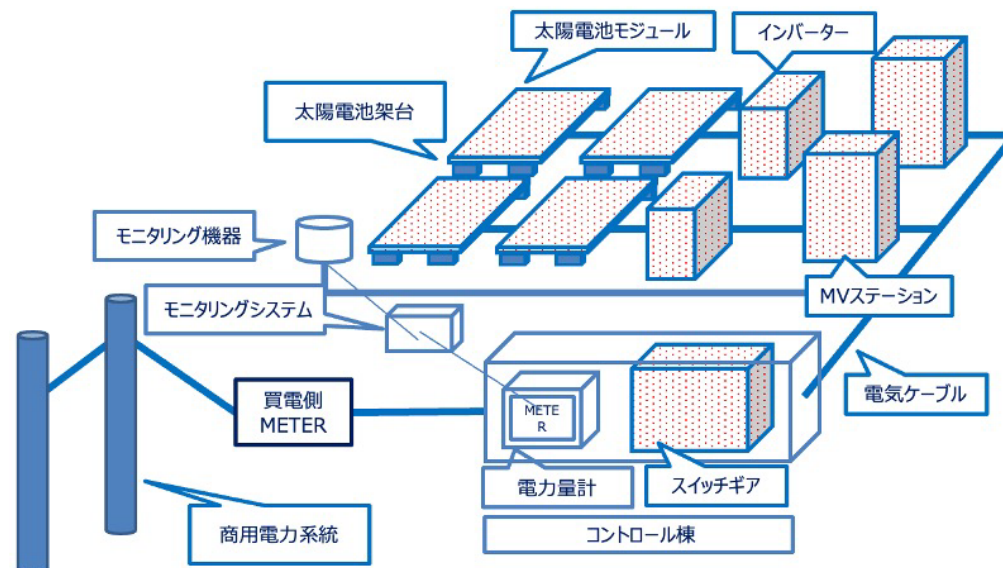
北中部州ケビティゴレワ地区における13.5MW太陽光発電プロジェクト

プロジェクト実施者：（日本側）柴田商事株式会社（スリランカ側）Windforce PLC、Kebithigollewa Solar Power (Pvt) Ltd

GHG排出削減プロジェクトの概要

北中部州ケビティゴレワ地区に13.5MWの太陽光発電システムを導入する。

本事業は、発電した電力を国営電力会社に売電することで温室効果ガス（GHG）排出量を削減するとともに、深刻な電力不足に直面するスリランカの電力インフラの増強に貢献する。



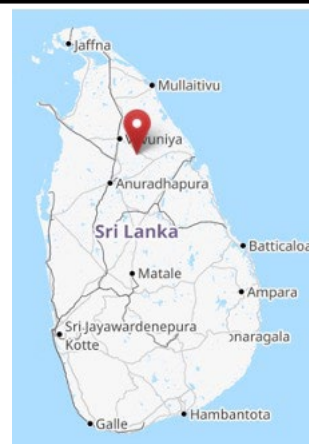
想定GHG排出削減量

6,511 tCO₂/年

= リファレンス CO₂ 排出量
- プロジェクトCO₂ 排出量

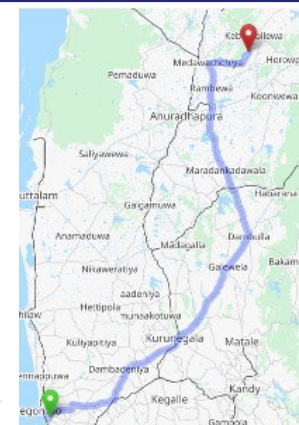
- ・ リファレンス CO₂ 排出量
= プロジェクト発電量 [MWh/年]
× 排出係数 [tCO₂/MWh]
- ・ プロジェクト CO₂ 排出量
= 0 [tCO₂/年]

実施サイト



コロンボ国際空港
より北東に約
175km

コロンボ
国際空港



©OpenStreetMap contributors. Tiles courtesy of Andy Allan.

2023年パートナー国入りしたスリランカの第1号案件です。

新規パートナー国入り一年目でも採択まで漕ぎつけることができました。

同年はチュニジアでも新規パートナー国入りから採択まで一年度内に成功しました。

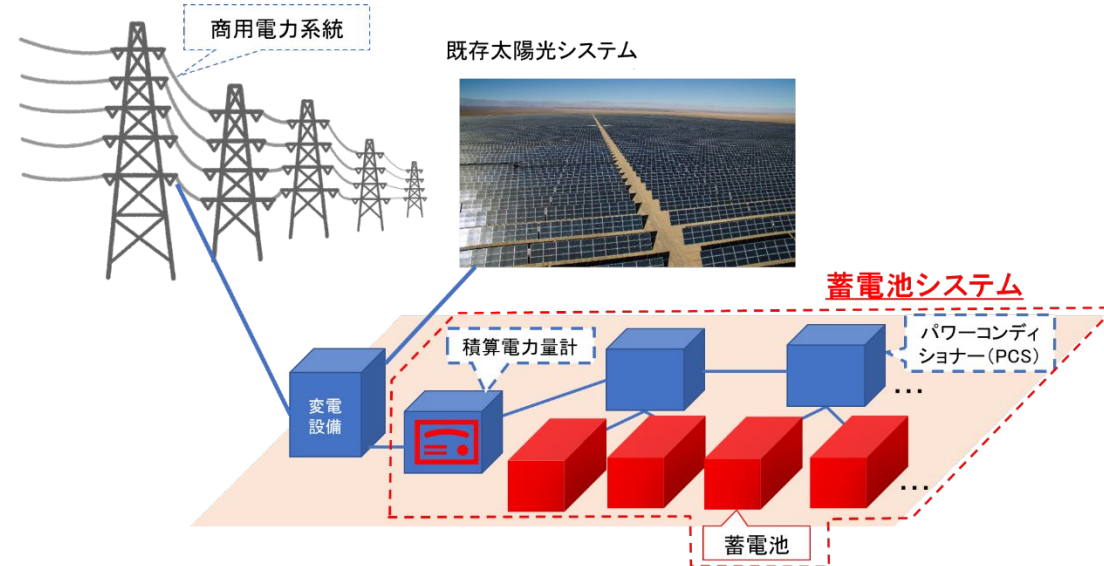
タラパカ州ウアタコンド太陽光発電所への196MWh蓄電システムの導入

プロジェクト実施者：（日本側） 双日株式会社 （チリ側） AustrianSolar Chile Cuatro SpA

GHG排出削減プロジェクトの概要

本事業は、タラパカ州ウアタコンド太陽光発電所に、98MW/196MWhの出力/蓄電容量を持つ蓄電池を導入する。

従来、出力抑制により有効活用されていない既存太陽光発電所の昼間電力を蓄電し、夜間に売電を行うことで、化石燃料を使用する火力発電を含む電力を再生可能エネルギー由来の電力に置き換える。これにより、温室効果ガス(GHG)排出量を削減し同国の政策目標の達成に貢献する。



既設の太陽光発電所に蓄電池を追加設置した案件です。

今後、太陽光発電案件の件数が上限に到達した国では、蓄電池を活用したJCM案件の応募が見込まれます。

想定GHG排出削減量

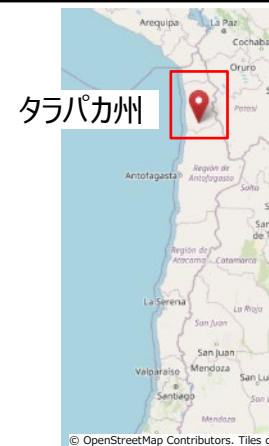
17,975 tCO₂/年

= リファレンス CO₂ 排出量
- プロジェクト CO₂ 排出量

・ リファレンス CO₂ 排出量
= プロジェクト発電量 [MWh/年]
× 排出係数[tCO₂/MWh]

・ プロジェクト CO₂ 排出量
= 0 [tCO₂/年]

実施サイト



イキケから南東に約150km

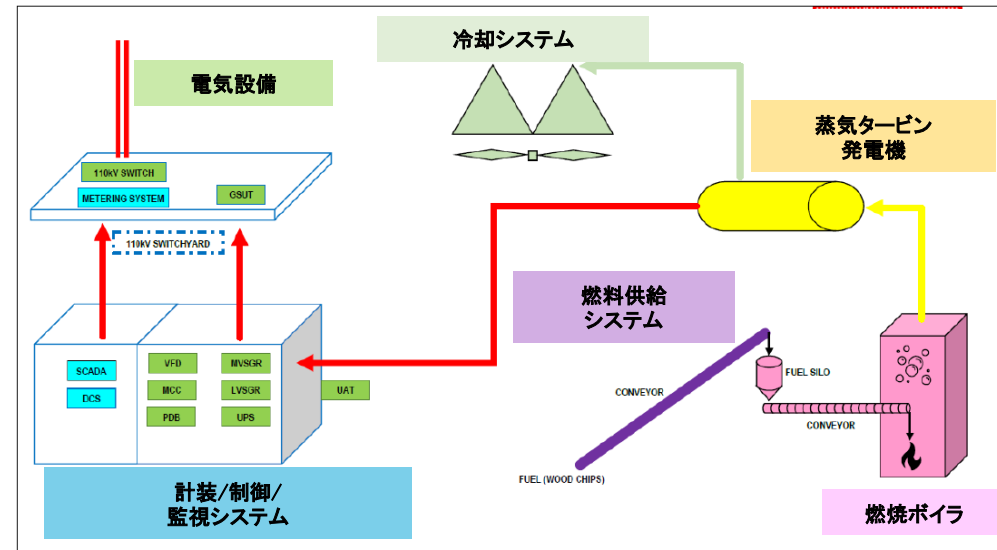
トウエンクアン省における50MWバイオマス発電事業

プロジェクト実施者：（日本側）イーレックス株式会社、（ベトナム側）erex Tuyen Quang Biomass Power Co., Ltd.

GHG排出削減プロジェクトの概要

トウエンクアン省において、周辺地域の材木加工工場から発生する端材等の木質残渣を活用して50MWバイオマス発電事業を行い、ベトナム電力公社に売電することでグリッド電源を代替し、温室効果ガス(GHG)排出量を削減する。

これにより対策を講じなかった場合(BAU)と比較して、本プロジェクトを通じた二国間協力により、2030年までに条件付き温室効果ガスの排出削減目標(Conditional NDC)の達成に貢献する。



本日登壇なさるイーレックス株式会社の案件です。

想定GHG排出削減量

83,118 tCO₂/年=リファレンスCO₂排出量－プロジェクトCO₂排出量・リファレンスCO₂排出量

＝プロジェクト発電量 [MWh/年]

× 排出係数 [tCO₂/MWh]・プロジェクトCO₂排出量

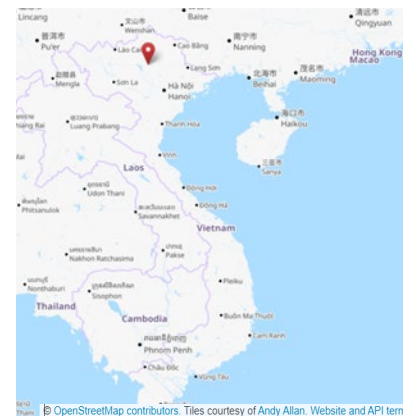
＝バイオマス発電施設の化石燃料消費に伴う

CO₂排出量[tCO₂/年]

＋プロジェクト輸送エネルギー熱量 [GJ/年]

× 排出係数 [tCO₂/GJ]

実施サイト



ハノイから北北西に120km

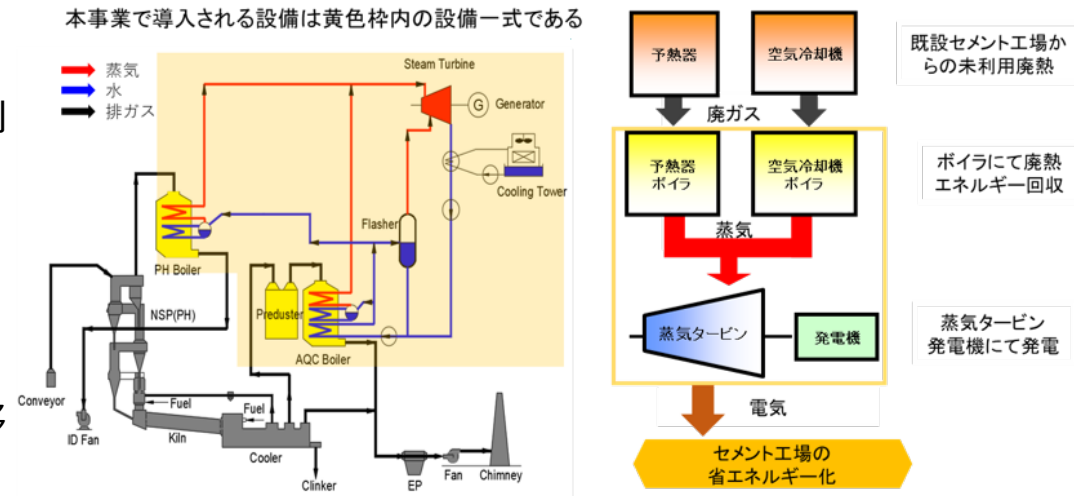


セメント工場への6MW廃熱回収発電システムの導入

プロジェクト実施者：（日本側）株式会社グローバルエンジニアリング、（フィリピン側）REPUBLIC CEMENT & BUILDING MATERIALS, INC.

GHG排出削減プロジェクトの概要

本事業は、ルソン島ブラカン州にある既存のセメント工場に6MWの廃熱回収発電システムを導入する。これまでセメント製造の焼成工程で発生していた未利用の廃熱エネルギーを用いて効率的に発電を行うことで、化石燃料由来の電力消費量を抑制し、温室効果ガス（GHG）の排出量を削減する。廃熱利用発電の分野においては、JCM設備補助を活用した同国における最初のプロジェクトである。本事業は、2021年に発行された低炭素社会への移行に焦点を当てた施策「フィリピンの持続可能なフィナンシャル・ロードマップ」にも貢献する。



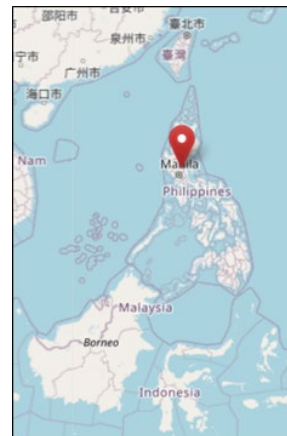
想定GHG排出削減量

21,244 tCO₂/年＝リファレンス CO₂ 排出量－プロジェクトCO₂ 排出量・リファレンス CO₂ 排出量

＝プロジェクト発電量 [MWh/年]

× 排出係数 [t CO₂/MWh]・プロジェクト CO₂ 排出量＝0 [t CO₂/年]

実施サイト



マニラ市の
ニノイ・アキノ
国際空港から
北に65.2 km

©OpenStreetMap contributors. Tiles courtesy of Andy Allan.

エネルギーの有効利用という観点で今後も増えていくことが期待される廃熱回収発電システム案件です。

ベトナム／バクニン省における廃棄物発電

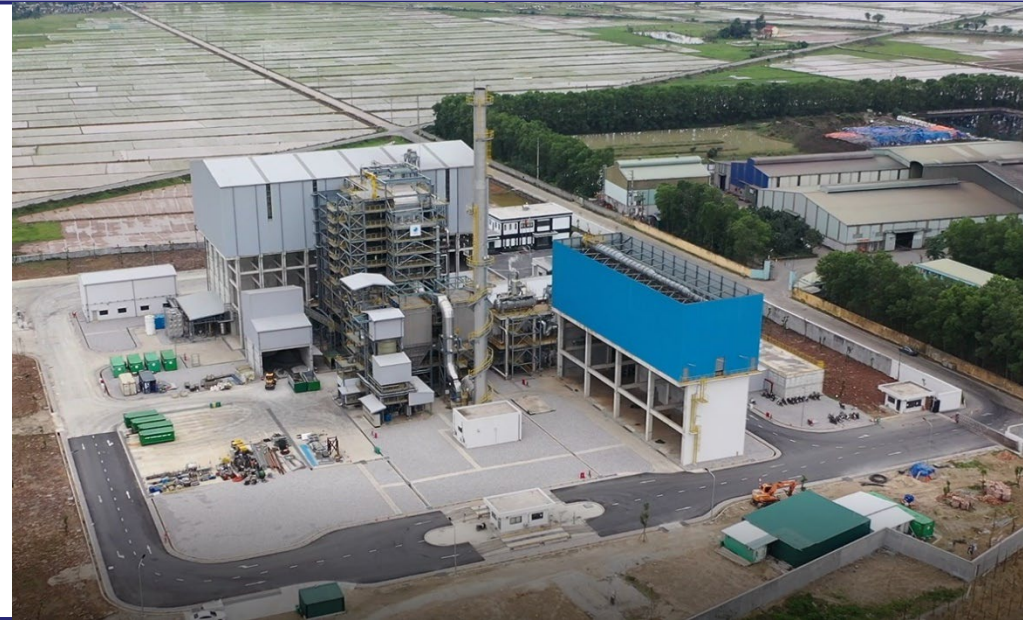
プロジェクト実施者：（日本側）JFEエンジニアリング株式会社 （ベトナム側）T&J Green Energy Company Limited

公共性の高い大型廃棄物発電案件です。

GHG排出削減プロジェクトの概要

本事業では、バクニン省内で大型廃棄物発電施設を導入する。同地域内で発生し、埋立処理されていた230t/日の一般廃棄物を、今回導入する大型廃棄物発電施設での焼却処理し、それによる発電を行う。また、従来焼却されていた120t/日の一般廃棄物および150t/日の産業廃棄物も焼却発電を行う。

本スキームにより、ベトナム国における廃棄物の適正処理、および化石燃料を使用しない発電による電力供給を実現、埋立処分場におけるメタン発生抑制とグリッド電力代替による温室効果ガスの削減を図る。



想定GHG排出削減量

41,804 tCO₂/年

= リファレンス GHG排出量
- プロジェクトGHG排出量

実施サイト

事業予定地：
バクニン省
（ハノイ市東方向
約30km）
ノイバイ空港より
南東約50km



地図データ©2021Google

パラヤン地熱発電所における29MWバイナリー発電プロジェクト

プロジェクト実施者：（日本側）三菱重工業株式会社（フィリピン側）Bac Man Geothermal Inc.

GHG排出削減プロジェクトの概要

本事業は、Bac-Man Geothermal Inc.がルソン島南部パラヤン地区に保有・運営する既設の120MWフラッシュ式地熱発電所に、29MWのバイナリー地熱発電設備を新規に導入するものである。有機ランキンサイクル(ORC)を用い、既設発電所から直接還元井に戻されていた低エンタルピーの廃熱水を有効活用することにより発電を行う。随伴ガスの追加発生はなく、また化石燃料の燃焼工程も存在しないため大気汚染等を起こさない。本事業は、発電会社として売電事業を行うものであり、化石燃料由来のグリッド電力を再生可能エネルギーで代替し温室効果ガス(GHG)排出量を削減する。



JCMでの初めての地熱発電案件です。バイナリー発電であり、随伴ガスの追加発生がありません。

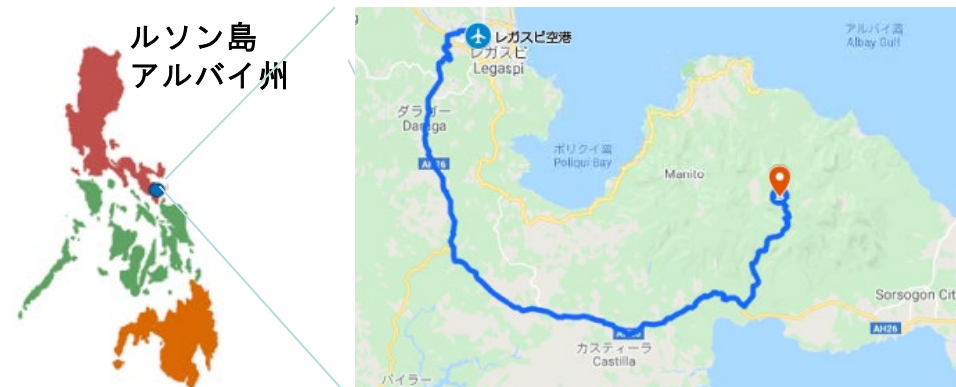
想定GHG排出削減量

72,200 tCO₂/年

= リファレンス CO₂ 排出量
- プロジェクトCO₂ 排出量

- ・リファレンス CO₂ 排出量
= プロジェクト発電量 [MWh/年]
× 排出係数 [tCO₂/MWh]
- ・プロジェクトCO₂ 排出量
= 0 [tCO₂/年]

実施サイト



レガスピ空港より南東へ約56km

地図データ©2020Google

付属資料 2

2024 年度 JCM設備補助事業 公募要領の概要

公募の採択審査基準は毎年度変更される可能性があります。
各年度4月初旬の公募開始時の発表をご確認ください。
毎年公募説明会を開催しておりますので、ご参加ください。日程等はGECのHPをご覧ください。

目的

途上国等において優れた脱炭素技術等を活用して温室効果ガス（GHG）の排出削減事業を行うとともに、JCMによるクレジットの獲得と我が国の削減目標達成への活用を目指す。

補助対象事業

JCMに関する二国間文書に署名している国（パートナー国）又は署名が見込まれる途上国等において、優れた脱炭素技術等を活用したエネルギー起源 CO2 排出削減を行うとともに、実現した GHG排出削減量をJCMに基づくクレジットとして獲得することで、我が国のNDC の達成に資する事業。

補助事業者の要件・責務

日本法人であり国際コンソーシアム（パートナー国法人等と 構成）の代表事業者として適切に事業を管理、遂行できること。GHG 排出削減効果の測定・報告・検証（MRV）を行うこと。

補助事業の実施期間

交付決定日以降に補助事業を開始し 3 か年以内に事業を完了させること。

予算

2024 年度から 3 か年で約 128 億円。

1件当たりの補助金の交付額

20 億円以下を目安。

補助率の上限

パートナー国において過去に採択された「類似技術」の件数に応じて設定。

「類似技術」件数	0 件	1 件以上 3 件以下	4 件以上 7 件以下	8 件以上 9 件以下	10 件以上
補助率の上限	50%	40%	30%	20%	採択しない

補助対象経費

エネルギー起源 CO2 排出削減に直接寄与する設備の整備に係る以下の経費。

補助対象※
● 設備費（モニタリング機器含む） ● 本工事費 ● 付帯工事費 ● 機械器具費 ● 測量及び試験費 ● 事務費 ● その他必要な経費でセンターが承認したもの
補助対象外
● 既存設備の撤去費（撤去費に係る諸経費も含む） ● 導入設備の保守、非常用設備、安全・衛生、防火・防犯に要する機器及び消耗品 ● 土木工事費及び建屋等の建設費（エネルギー起源CO2 排出削減に直接寄与する構造物を除く） ● 既存設備の更新で機能を新設時の状態に戻すような「単なる機能回復」に係る費用 ● 予備品 ● 本補助事業に係る報告書の作成や現地検査等に要する費用 ● 為替予約手数料、銀行振込手数料 ● 土地取得費

※
JCMエコリース事業の補助対象経費はリース料のうち設備費相当分とそれに伴うリース金利のみ。

公募の採択審査基準は毎年度変更される可能性があります。
各年度4月初旬の公募開始時の発表をご確認ください。
毎年公募説明会を開催しておりますので、ご参加ください。日程等はGECのHPをご覧ください。

MRV期間

補助事業者は設備が稼働してから法定耐用年数満了まで MRV(測定・報告・検証)を実施していただきます。法定耐用年数は、「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」の別表第一および第二をご参照ください。同じ設備でも業務用途により耐用年数が異なりますので、ご注意ください。判断が難しい場合は、所管の税務署にお問い合わせください。

減価償却資産の耐用年数等に関する省令
(昭和四十年三月三十一日大蔵省令第十五号)

別表第二 導入設備を用いて「他の最終製品」を生産する場合

別表第一 上記以外の場合(建物の所有者が共有設備として導入する等)

〈代表例〉	技術	用途の例／設備の種類及び細目	耐用年数
	太陽光発電	売電目的 別表第二31 電気業用設備(その他の設備・主として金属製のもの)	17 年
		自動車工場での自家消費 別表第二23 輸送用機械器具製造業用設備	9 年
		倉庫屋根置きによる自家消費 別表第二40 倉庫業用設備	12 年
ボイラー		食用油の生産 別表第二1 食料品製造業用設備	10 年
		ゴム製品の製造 別表第二9 ゴム製品製造業用設備	9 年
		ホテルへの温水供給事業 別表第二33 熱供給業用設備	17 年
吸収式冷凍機		化学工場での冷熱利用 別表第二8 化学工業用設備(その他の設備)	8 年
		ショッピングモールでの冷房 別表第一 建物附属設備(冷房暖房通風又はボイラー設備その他)	15 年

GHG 排出削減総量に係る補助金額の費用対効果

費用対効果とは GHG 排出量をCO2 換算で 1トン削減するために必要な補助金額です。

GHG 削減費用対効果[円/tCO2eq]=
補助金額[円]※2 ÷ GHG 排出削減総量[tCO2eq]※3

※2 補助金額[円]=
補助対象経費[円] × 補助率[%]

※3 GHG排出削減総量 =
GHG 年間排出削減量[tCO2eq /年] × 法定耐用年数[年]

費用対効果は 4 千円 /t CO2eq 以下とします。
但し、同一パートナー国における類似技術の活用が5 件 以上の場合は
3 千円 /t CO2eq 以下とします。※4

太陽光発電は原則2千5百円 /tCO2eq 以下、小水力発電は原則
5百円 /tCO2eq 以下とします。

同一パートナー国における類似技術の活用が 10 件 以上の場合は当該技術の採
択はしません。

※4 各国の類似技術の件数については公募要領別添 3「類似技術の分類 各パー
トナー国における採択実績」をご参照ください。

採択審査基準(2024 年度追加項目など)

公募の採択審査基準は毎年度変更される可能性があります。
各年度4月初旬の公募開始時の発表をご確認ください。
毎年公募説明会を開催しておりますので、ご参加ください。日程等はGECのHPをご覧ください。

☑ 事業の対象国

現パートナー国の事業の提案を優先するが、「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画・フォローアップ(2022年6月閣議決定)」におけるパートナー国を30か国程度とすることを目指す方針を踏まえ、パートナー国以外の署名が見込まれる途上国等での事業の提案についても新規パートナー国に向けた二国間交渉と並行して採択を検討することを前提に提案を受け付ける。

☑ 人権対応

日本政府が2020年に公表した「ビジネスと人権」に関する行動計画(2020-2025)及び「責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン」(2022年9月)に沿って、企業が自らの責任の下、最善の人権対応に取り組んでいるか、具体的な取組内容を審査において確認する。

☑ 補助事業者の 2050 年カーボンニュートラル及び 2030 年度削減目標の実現に向けた取組

- 2050 年カーボンニュートラルに向けた温室効果ガスの排出削減目標の設定
 - デコ活応援団への参画 ● デコ活宣言への登録
- <参考>デコ活ホームページ(環境省)<https://ondankataisaku.env.go.jp/decokatsu/>

☑ 「環境省脱炭素インフライニシアティブ」における「JCMにおける注力すべき分野」に合致する事業の加点(加点項目)

- 再生可能エネルギー(太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス、グリーン水素等)
- グリーン物流(コールドチェーンを含む)(ノンフロン冷却装置、モーダルシフト、空港・港湾等)
- 廃棄物インフラ(廃棄物発電等)

☑ 太陽光発電

太陽光発電モジュールについては、変換効率が 21.2% 以上であること。

☑ 太陽光発電+蓄電池

- 太陽光発電モジュール: 変換効率が 21.2% 以上であること。
- 蓄電池: 導入する太陽光発電モジュールで発電された電力のみを充電するもの等の条件を満たすこと。

☑ 蓄電池単独

- 再生可能エネルギー発電設備で発電された電力のみを充電するもので、出力規制等により再生可能エネルギーの電力が有効に使用されていない状況があること等の条件を満たすこと。

パートナー国との合同委員会における関係プロセス

ヒアリング審査後、採択候補案件について JCM 事務局へ「PIN(Project Idea Note for the JCM Project)」を送付します。JCM 事務局で記載内容が必要な情報を網羅しているかどうかを確認した上で、JCM 事務局からパートナー国政府との合同委員会へ送付し、採択に異議がないことを確認した上で、採択案件を決定します。
応募案件が採択候補となりこのプロセスに入った場合にはお知らせします。

応募

応募方法: インターネットによる電子申請

2024年度公募期間: 2024年4月5日(金)~11月29日(金)正午

- 応募予定案件は案件概要を事前に登録してください。
- 交付内示額が予定額に達した段階で終了します。

付属資料 3

JCM設備補助事業 案件形成のポイント &

問題の要因と成功の秘訣

JCM設備補助事業の要件

- ☑ **優れた脱炭素技術**を有し、**両国の政策に合致**すること
- ☑ **エネルギー起源CO₂削減**を含み、**計測が可能**なこと
- ☑ **補助金費用対効果**及び**投資回収年数**の基準をクリアすること
- ☑ 日本の代表事業者とパートナー国の設備保有者が**コンソーシアム協定**を結び、**法定耐用年数期間、モニタリング**を行うこと
- ☑ 事業期間内（実質2年半程度）に設備が稼動すること
- ☑ **土地確保、許認可、原燃料調達、資金計画**が確実なこと
- ☑ （補助金がない場合と比べ）**補助金の必要性**を説明できること
- ☑ **PPAなどに環境価値（クレジット）の帰属に関する内容が含まれないこと**

項目	問題の要因	成功の秘訣
事業計画	× 政府と現地企業のニーズと能力に合致せず、シーズ側だけで決めている × 実施の事業計画が事前に把握できていない	○ 両国の政策と現地企業のニーズに合致している ○ 実施の障壁は初期投資のみであり、補助金支給で解決可能となる
実施体制	× 各団体の役割が不明確であり、実施について書面で意思表示できていない × 現地企業との顧客関係が払拭できず、代表事業者が現地企業をグリップできていない	○ 各団体の役割が明確であり、実施について意思決定できている ○ 代表事業者と共同事業者が一体で事業を進めている
資金調達	× 資金調達契約が不完全である × 現地企業の支払い能力や銀行の借入れ条件を把握していない／満たしていない	○ ファイナンスクローズまでの手続きが明確に定まっている ○ 現地企業の借入れ能力を超えていないことを確認済み
関連法規制・許認可	× 必要な許認可が事前に特定できておらず、後から必要だと気づく × 許認可の実績や新規性動向などの情報に疎い	○ 関連法令及び許認可を確認できており、必要な取得手続き及び期間を把握している ○ 実績があり、当局との信頼関係が構築できている
スケジュール	× スケジュールの遅延リスクが考慮されていない × 補助事業実施期限に合わせた無理なスケジュールとなっている	○ 発注、機器製造、設置および試運転の全体スケジュールを把握できている ○ 完工時期に無理がないようタイムリーに応募提案する

付属資料 4

JCM Global Matchの ステップ・バイ・ステップでのご紹介

JCM Global Match のご紹介

公益財団法人地球環境センター(GEC)



JCM Global Matchとは

環境省が実施する
JCM設備補助事業等、
JCMの案件形成を
支援する無料の
ビジネスマッチング
サイトです。



The screenshot shows the homepage of the JCM Global Match website. At the top, there is a navigation bar with a GEC logo, a search bar, and links for '検索' (Search) and 'ログイン' (Login). Below the navigation bar, there is a main banner with the text 'JCM Global Match' and 'A FREE matching platform for decarbonizing businesses!'. The banner features an image of hands stacked together. Below the banner, there is a section titled '役割・国からパートナーを見つける' (Find partners by role and country). This section is divided into four categories: 'Japanese Enterprises' (represented by a Japanese flag and city skyline), 'Partner Country Enterprises' (represented by a world map), 'Consultants, Public Sectors' (represented by an image of business people), and 'Financers' (represented by an image of various banknotes). Each category has a corresponding icon and text.

JCM Global Matchとは

登録ユーザーの4割
が日本拠点の方、
6割は日本以外の拠
点の方で、
60力国以上から登
録があります。

The screenshot shows the JCM Global Match website. At the top is a navigation bar with a GEC logo, a search bar, and links for 'ホーム', 'What is JCM', '使い方', '導入事例', and 'よくある質問'. The main header features a large image of hands stacked together, with the text 'JCM Global Match' and 'A FREE matching platform for decarbonizing businesses!'. Below this is a section titled '役割・国からパートナーを見つける' (Find partners by role/country). It contains four tiles: 'Japanese Enterprises' (with a Japanese flag and cityscape), 'Partner Country Enterprises' (with a world map), 'Consultants, Public Sectors' (with an image of business people), and 'Financers' (with an image of various banknotes).

環境省が実施するJCM設備補助事業プラットフォームへようこそ。ぜひ
報収集やパートナー探しにご活用ください。

*「JCM Global Match」の特徴

役割・国からパートナーを見つける

日本企業（法人） Japanese Enterprises

パートナー国企業（法人） Partner Country Enterprises

コンサルタント・公的機関 Consultants, Public Sectors

Financers

活用のメリット



1. 脱炭素ビジネスに携わる企業担当者が集まっています

脱炭素ビジネスに
携わる世界中の
ビジネスパーソン
と交流が可能です。



The screenshot shows the top navigation bar of the JCM Global Match website. It includes a GEC logo, a search bar with the text "Search...", and buttons for "検索" (Search) and "ログイン" (Login). Below the navigation bar, there are links for "ホーム" (Home), "What is JCM", "使い方" (Usage), "導入事例" (Introduction Cases), and "よくある質問" (Frequently Asked Questions).

JCM Global Match

A FREE matching platform
for decarbonizing businesses!

役割・国からパートナーを見つける

環境省が実施するJCM設備補
プラットフォームへようこそ
報収集やパートナー探しにご

*「JCM Global Match」の特

日本企業（法人）
Japanese
Enterprises

Partner
Country
Enterprises

コンサルタント、公共機関
Consultants,
Public
Sectors

Financers

2. JCM Global Match の活用方法

ご登録後、次の機能を活用できます。

1

発見

潜在的パートナー
を検索しアプローチできます

2

宣伝

御社の商品・サービスを
効率的にアピールできます

3

協議

事業計画や脱炭素関連の
話題について協議できます

2. JCM Global Match の活用方法

ご登録後、次の機能を活用できます。

1

発見

潜在的パートナー
を検索しアプローチできます

2

宣伝

御社の商品・サービスを
効率的にアピールできます

3

協議

事業計画や脱炭素関連の
話題について協議できます

2. JCM Global Match の活用方法

1

発見

潜在的パートナー企業と担当者を技術、国、会社名などで検索できます。



2. JCM Global Match の活用方法

1

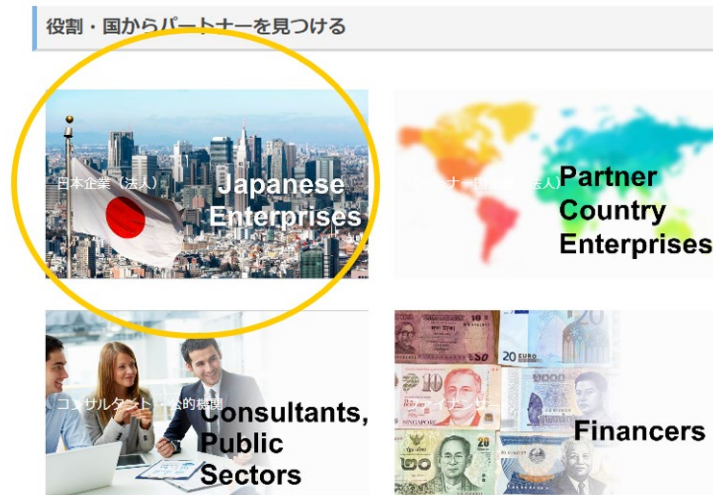
発見

また、次の2つのボタンから業者リストの参照が可能です。

*メニューバー



*トップページ



2. JCM Global Match の活用方法

1

発見

連絡を取りたい相手が見つかったら
「マッチングリクエスト」を送ってください。

ホーム What is JCM ▾ 使い方 ▾ 導入事例 オープンイノベーション ▾ インベーションカン 得意分野 よくある疑問 問合せ先 予約・トレーニング



Jose Sato

会社名 業種
Global Environment Centre Foundation

ウェブサイトURL 業種（その他）
<https://gec.jp/>

部署

COUNTRY
JAPAN

住所

マッチング申請はこちら

相手へのメッセージ（英語または現地語）を入力し、「マッチング申請する」ボタンを押してください。相手が承認すると直接コンタクトできるようになります。

メッセージを入力(255文字まで入力可) ⓘ

マッチングを申請する

私のマッチング進捗リスト

マッチング相手	進捗
マッチング相手	進捗



2. JCM Global Match の活用方法

1

発見

相手の方が承認すると直接のコミュニケーションが可能になります。



ホーム What is JCM ▾ 使い方 ▾ 導入事例 オープンイノベーション ▾ インベーションカン 得意分野 よくある疑問 問合せ先 予約マッチング



Jose Sato

会社名 業種
Global Environment Centre Foundation

ウェブサイトURL 業種（その他）
<https://gec.jp/>

部署

COUNTRY
JAPAN

住所

マッチング申請はこちら

相手へのメッセージ（英語または現地語）を入力し、「マッチング申請する」ボタンを押してください。相手が承認すると直接コンタクトできるようになります。

メッセージを入力(255文字まで入力可) ⓘ

マッチングを申請する

私のマッチング進捗リスト

マッチング相手	進捗	マッチング相手	進捗
---------	----	---------	----



2. JCM Global Match の活用方法

1

発見

マッチングリクエストが届いた場合は、登録メールアドレスに通知されます。



承認するまで、直接のコンタクト情報は開示されません。



2. JCM Global Match の活用方法

ご登録後、次の機能を活用できます。

1

発見

潜在的パートナー
を検索しアプローチできます

2

宣伝

御社の商品・サービスを
効率的にアピールできます

3

協議

事業計画や脱炭素関連の
話題について協議できます

2. JCM Global Match の活用方法

2

宣伝

「オープンディスカッション」は、脱炭素ビジネスの話題を自由に投稿できる場です。

オープンディスカッション



オープンディスカッション（国別）



オープンディスカッション（技術別）



2. JCM Global Match の活用方法

2 宣伝

貴社の商品やサービスも自由に写真等を入れて宣伝でき、気になる他のユーザーの投稿には直接コメントできます。

オープンディスカッション



オープンディスカッション（国別）



オープンディスカッション（技術別）



2. JCM Global Match の活用方法

ご登録後、次の機能を活用できます。

1

発見

潜在的パートナー
を検索しアプローチできます

2

宣伝

御社の商品・サービスを
効率的にアピールできます

3

協議

事業計画や脱炭素関連の
話題について協議できます

2. JCM Global Match の活用方法

3 協議

特定のユーザーのみを招待し、非公開のチャットができる
「Invitation Salon」もご利用いただけます。



Home > インビテーションサロン

インビテーションサロン

インビテーションサロンを作成する

インビテーションサロンは、他のユーザーと交流できる非公開のチャットルームです。

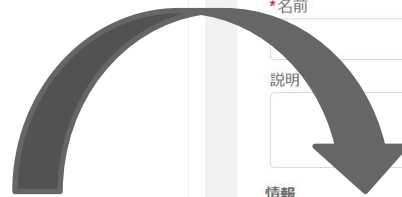
マッチングリクエストを出してなくても、誰にでもインビテーションを出すことができます。

インビテーションサロンでは、それを作ったユーザー（ホスト）が、検索機能やオープンディカッションで見つけたユーザーを招待して、

複数人でプライベート（非公開）な環境で、効率的に会話を行うことができます。

招待されたユーザーは、関心がない場合は、チャットルームから退室することもできます。

インビテーションサロンの作成



インビテーションサロンを登録

*名前

説明

情報

Salesforce Sans 12 B I U

確認

登録方法



登録方法

JCMウェブサイトから
登録画面を開きます。



JCM Global Matchから

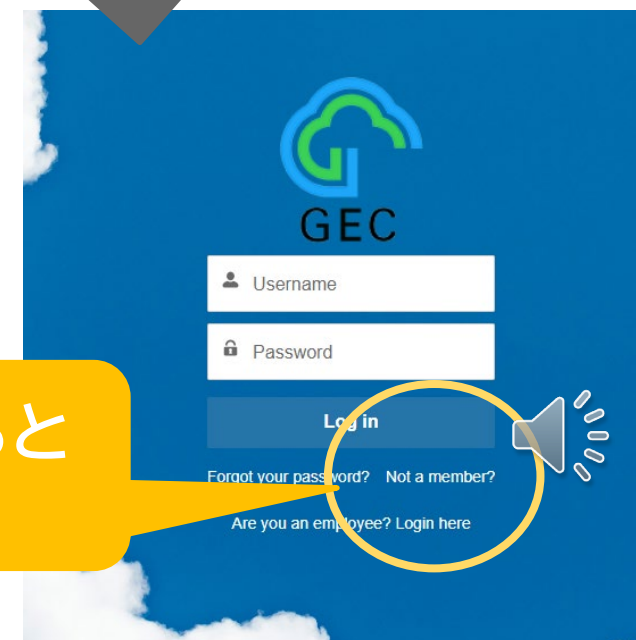
1. 「JCM Global Match」の特徴



「JCM Global Match」
ご登録はこちらから☺



Not a member?を選択すると
登録画面になります。



登録方法

世界中のユーザー向けに
英語で、
お名前、メールアドレス、
会社名、ホームページ
URL等をご記入ください。



約2分で
登録完了

First Name

Last Name

Email

確認用メールアドレス

会社名

COUNTRY

ウェブサイトURL

サインアップ

The image shows a registration form with a light blue border. It contains seven input fields, each with a small icon and a label: a person icon for 'First Name', a person icon for 'Last Name', an envelope icon for 'Email', a person icon for '確認用メールアドレス' (Confirmation email address), a person icon for '会社名' (Company name), a person icon for 'COUNTRY', and a person icon for 'ウェブサイトURL' (Website URL). Below the fields is a blue button with the text 'サインアップ' (Sign up). A yellow speech bubble with a black outline is positioned to the right of the form, containing the text '約2分で 登録完了' (Registration completed in about 2 minutes). A small speaker icon is located at the bottom right of the form.

登録方法（情報追加方法①）

登録が完了したら、
他のユーザーの関心を
引くため、
プロフィール欄に貴
社情報の追加、拡充
をお勧めいたします。

選択

トップページ

ISHIKAWA AKIKO

GEC

会社名 GEC 業種

ウェブサイトURL <https://gec.jp/jp/> 業種（その他）

部署 代表事業者 ☐

COUNTRY JAPAN

企業ミッション

詳細

得意分野（下書き）

編集

マッチング

2022080

2022082

2022112

すべて表示

貴社のビジネス分野・アピールポイント、
主力製品・サービス
などを追加記載

登録方法（情報追加方法②）

なお、トップページの業者リストには、登録いただいた「得意分野」が表示されます。

アピールしたい専門分野をぜひご登録ください。

トップページ中ほどに作成ボタンがあります。

役割・国からパートナーを見つける



私の会社の得意分野（Specialties）

私の得意分野の追加

私の得意分野の編集

「私の会社の得意分野」登録/公開手順（動画）

詳しくは「使い方」欄をご覧ください。



JCM Global Match
QR コード



JCM Global Match へのリンク

<https://gec.force.com/JCMGlobalMatch>



ご利用お待ちしております！

